平成26年12月14日
執　　行

衆議院小選挙区選出議員選挙大分県第2区選挙公報

大分県選挙管理委員会
（掲載順序はくじによる）

えとう征士郎

自由民主党公認（大分2区）
衛藤（えとう）　せいしろう

地方の成長なくして 日本の展望なし
積み上げてきた実績を、確かな政治に活かします。

社会保障制度確立のために　経済成長　最優先　ーカギは地方創生ー

○**経済成長の軌道構築**
☆**積極的な財政政策と税制政策**
法人税率（現行35％）を国際水準（25％）に引き下げ、企業の海外移転をくい止め、雇用の増大をはかる
☆**元気な地方が日本を創る**
＊資材、飼料、燃油の高騰に苦しむ、**農林水産業**の展望を拓き、発展の余地のある**観光**、日本を代表する**海運造船**など、**大分の強み**を活かすために、全力を挙げる
＊地方の**中小零細企業**には、手厚い財政・税制支援が必要

○**TPPなどの経済連携交渉**
外交経済連携本部長として、国会決議をふまえ、国益を最大限に追求。東アジア包括的経済連携協定（RCEP）を日本が主導し、アジアの成長を取り込む。

○**消費税は全額、「年金・医療・介護・子育て」に充当**

○**福祉の現場を守る**
働く人々の処遇改善に取り組む

○**防災、減災の国づくり**
南海トラフ等の巨大地震、火山噴火などを想定し　万全の対策を準備
病院船・災害時多目的支援船の建造（◎病院船建造議連会長）
＊海に囲まれた日本に不可欠の救護、救急、救命体制

○**海事立国日本の構築**（◎海事振興議連会長　◎漁港・漁場・漁村議連会長）
海運、造船、水産、海底資源など、日本の推進力　海事に全力。

○**交通体系の整備**（◎全国高速道路建設推進議連会長）
東九州高速道路、中九州地域高規格道、日田・中津地域高規格道
九州四国海底トンネル構想（大分―四国―大阪480キロを2時間で結ぶ）

○**誇り高い日本人を育む教育**
小中学校から日本史と世界史を学び、確固とした国家観と歴史観、愛国心を持つ真の国際人を育成する。

○**女性の特性と活力を引き出す国づくり**

○**自主憲法の制定**

○**外交・防衛力を強化**
集団的自衛権の行使は、戦争をするための法律の整備ではない。**戦争を回避するための必要な手だて。**
戦争のない世界を目指せばこそ、抑止力のための自衛隊の増強、自衛隊員が安心して働ける環境整備が必要。

○**領土・領海・領空を断固として守る**
併せて近隣諸国、**国際社会との互恵的、平和的関係構築**に努力。

☆**国会改革、議員定数3割削減　一院制国会へ！**
一院制国会議員連盟（会長　**えとう征士郎**）は現在、超党派の衆議院議員341名が集結し、国会改革に挑戦しています。すでに平成11年、**えとう征士郎が議案提出者**として、50名の衆議院議員定数削減法案を国会に提議、翌12年、20名の削減が実現しました。以来、衆議院と参議院を統合して、500名以下の**一院制国会を創る！**と、**一貫して国会改革の先頭**に立っています。（現在衆参722議席）

日本を動かす力、充実！

昭和16年生まれ、山奥の農家で育つ。
10才、貧しい山村の暮らしの中で
「**政治家になって村のくらしを守る！**」
と決意。
高校は2年間休学し、炭焼きや椎茸栽培に励む。
自活しながら早稲田大学で政治学を学ぶ。
- 早稲田大学政治経済学部政治学科卒
- 同大学院国際政治修了
- 昭和46年 玖珠町長（29才、当時全国最年少）
- 昭和52年 参議院議員（36才）
- 昭和58年 衆議院議員（42才）
以後10期連続当選

国会では
☆**衆議院副議長・国務大臣防衛庁長官**
農林水産政務次官・外務副大臣
衆議院予算・決算・大蔵・国家基本政策・テロ対策特別委員会などの各委員長
等々 要職を歴任
☆漁港・漁場・漁村整備推進国会議員連盟会長
全国高速道路建設推進議員連盟会長
自民党外交経済連携本部長
等々 現在役職多数

吉川はじめ（48歳）

くらしと平和を守る 吉川はじめです

今回の総選挙、景気回復、原発再稼働、そして集団的自衛権の行使容認など、私たちが審判を下すべき重要な争点があります。

平和憲法を軽んじ、日本を再び、戦争のできる国に変えてはなりません。

アベノミクスは、大企業や高額所得者、都市部に利益を集中させるだけ。景気の回復は、働く人の雇用と賃金の安定を最優先にし、国内消費の拡大によって進めるべきです。

いま、都市と地方の格差は拡大するばかり。地方に元気を取り戻し、自然豊かなふるさと大分から、笑顔と活気があふれる日本にするため、精いっぱい、がんばります。

再び、国政の場で汗をかかせていただけるよう、皆さまのお力をぜひ、お貸しください。

笑顔と活気があふれる大分へ 全力をあげます

1.暮らしと雇用を守る
アベノミクスの恩恵を受けたのは一部の大企業と高額所得者だけ。一方、15ヵ月連続で実質賃金は低下し、私たちのくらしは厳しさを増すばかり。雇用と賃金を増やすことで景気を回復させます。
- ■GDP（国内総生産）の6割を占める国内消費を拡大！
- ■月額最低8万円の年金給付など安心の社会保障制度改革を実現！
- ■非正規労働者の正規化と待遇改善！

2.生命と環境を守る
政府は原発再稼働を強行しようとしています。大分県は、伊方（愛媛県）、玄海（佐賀県）、川内（鹿児島県）の原発に囲まれています。どこかでひとたび事故が起きたら、放射能被害から免れません。
- ■原発再稼働にNo！ 2020年原発ゼロへ
- ■おんせん県大分から自然エネルギー利用を促進！
- ■豊かな水と自然を守り、子どもたちの笑顔あふれる「ふるさと大分」に！

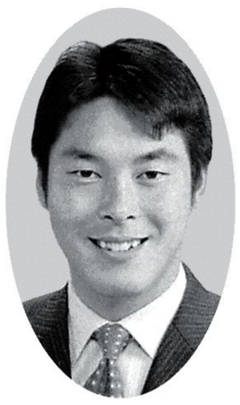
吉川はじめ
大分を守る4つの約束

3.憲法と平和を守る
特定秘密保護法の制定、武器輸出解禁、そして集団的自衛権の行使容認―憲法はいま、最大の危機に直面しています。日本を再び、戦争のできる国にすることを許しません。
- ■集団的自衛権の行使容認の撤回へ！
- ■憲法9条を守り、子どもたちに平和な未来を約束！
- ■欠陥機オスプレイの配備・訓練を撤回！
- ■米軍の日出生台演習を縮小・廃止へ！

4.地域と農林水産業を守る
コメ価格の暴落や肥料価格の高騰で農家・酪農家が悲鳴をあげています。しかし政府は、農林水産業を壊滅させるTPP締結にまっしぐら。農業、林業、漁業を地域再生の柱に据えて支援します。
- ■農林水産業と地域を壊滅させるTPP締結に反対！
- ■農家への戸別所得補償を復活させ、若者が安心して働ける農業へ！
- ■燃料・肥料の高騰分を国が補てん！

ふるさとの新鮮力
大分県第2区 衆議院議員候補 社民党公認・連合大分推薦

安倍政権に真正面から対決　日本共産党の躍進で暴走政治にストップを



憲法9条と平和を壊し、消費税増税で暮らしも壊す。国民の声を踏みにじる安倍自公政権が、世論に追い詰められての解散・総選挙となりました。

あなたの一票で、暴走政治にストップをかけるチャンスです。

憲法をいかした国民が大切にされる日本へ―日本共産党が伸びれば、かならず日本の政治は良くなります。暮らしと平和をまもる確かな力、日本共産党を躍進させてください。

提案1
税金は負担能力に応じて
消費税 10％増税はキッパリ中止を
富裕層と大企業に応分の負担を。税金のムダ遣いを正し、大企業の内部留保の一部を賃金・下請け単価に活用して、経済と財政を立て直します。

提案2
集団的自衛権の行使容認は撤回
憲法9条をいかし平和の外交へ転換を
「集団的自衛権」で、日本が攻撃されなくても、アメリカと一緒に「海外で戦争できる国」へ変え、若者を戦場に送る訳にはいきません。日出生台での米軍演習中止・沖縄の新基地建設中止を。

提案3
年金・雇用の充実で安心できる日本へ
安定した雇用と社会保障の充実を
「一生派遣」「残業代タダ」なんてとんでもありません。雇用は正社員が当たり前、ブラック企業を規制し、中小企業支援で最低賃金時給千円以上に。「最低保障年金」実現、「子ども医療費助成」は国の制度に、介護・医療・教育予算の抜本的拡充を。

提案4
原発の再稼働ストップ
「原発ゼロ」・再生エネルギー普及を
九州はすでに3年間原発ゼロです。危険で高コストな原発でなく、再生エネルギーの普及と低エネルギー社会への転換を。伊方・玄海・川内など全ての原発の再稼働ストップ、福島支援に全力を。

提案5
米価暴落の緊急対策を
TPP交渉撤退、食料と地域経済を守ります
農業だけでなく、医療・雇用なども大打撃となるTPP参加交渉はただちに撤退しかありません。食糧主権にもとづいた貿易ルールづくりと、価格保障・所得補償で農林水産業の再生と後継者育成を進め、地域の発展につなげます。

日本共産党を伸ばせば政治は動きます

●ブラック企業の規制
参院選で議席が倍増、議案提案権を得た力で「ブラック企業規制法案」を提出。その結果、厚労省が立ち入り調査や企業名の公表に踏み出しました。

●秘密保護法の廃止へ
12月10日に施行がせまった秘密保護法。日本共産党は「廃止法案」を提出し、国民と力を合わせ民主主義を守るため頑張ります。

比例代表は **日本共産党** とお書きください

●ビジョンの詳細はホームページ　日本共産党　検索　http://www.jcp.org/

日本共産党
山下かい

山下かい略歴　・1976年生まれ　NHK学園高校卒
・趣味 山登り